

地元消費(Buy Local(バイローカル))等について

□調査期間 令和5年9月11日～9月22日

□調査の趣旨 日常の買い物でどのくらい地元消費されているのかを調査します。

□対象者数 1090 人(令和5年9月11日現在)

□回答者数 762 人

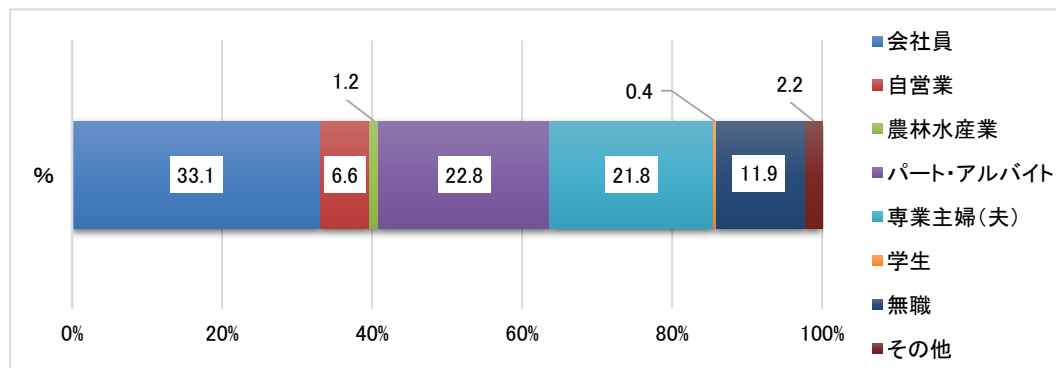
□回答率 69.9 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

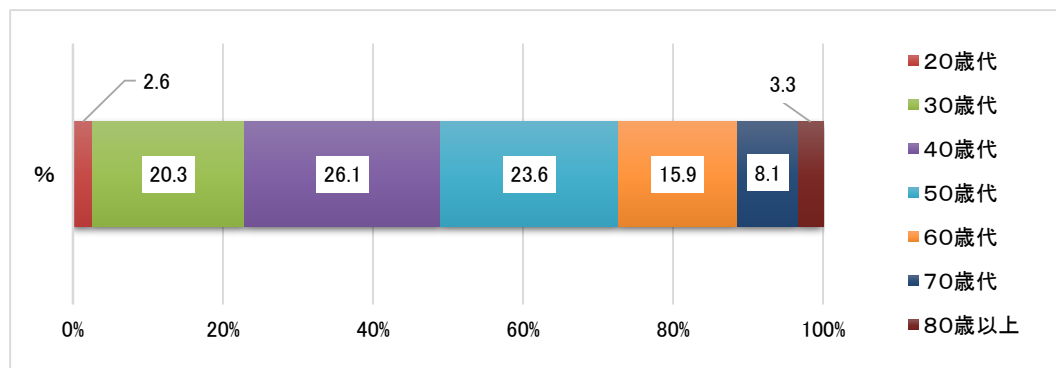
【職業】

内訳	人数	%
会社員	252	33.1
自営業	50	6.6
農林水産業	9	1.2
パート・アルバイト	174	22.8
専業主婦(夫)	166	21.8
学生	3	0.4
無職	91	11.9
その他	17	2.2
合計	762	100.0



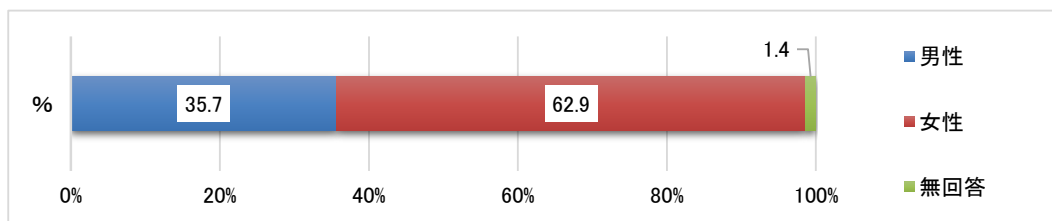
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	20	2.6
30歳代	155	20.3
40歳代	199	26.1
50歳代	180	23.6
60歳代	121	15.9
70歳代	62	8.1
80歳以上	25	3.3
合計	762	100.0



【性別】

内訳	人数	%
男性	272	35.7
女性	479	62.9
無回答	11	1.4
合計	762	100.0

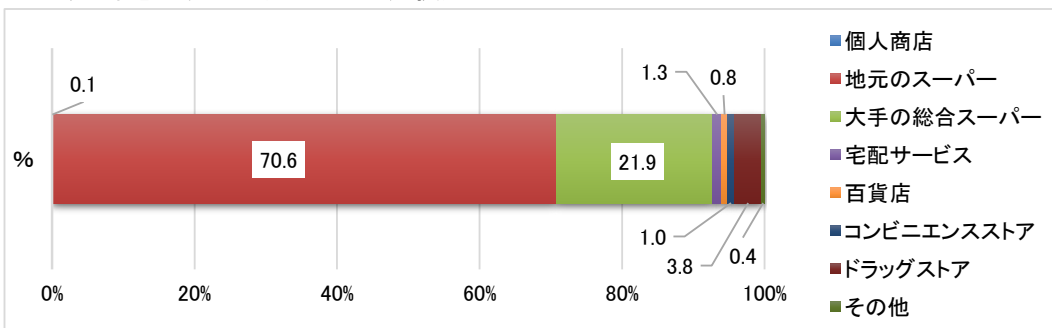


【Q2】お住まいの地区はどちらですか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%	内訳	人数	%
本町	14	1.8	貴志	59	7.7
城北	5	0.7	楠見	46	6.0
広瀬	19	2.5	西和佐	13	1.7
雄湊	17	2.2	岡崎	28	3.7
大新	14	1.8	西脇	23	3.0
新南	15	2.0	和佐	15	2.0
吹上	18	2.4	安原	15	2.0
砂山	18	2.4	西山東	5	0.7
今福	9	1.2	東山東	4	0.5
高松	32	4.2	有功	23	3.0
宮	30	3.9	直川	7	0.9
宮北	18	2.4	川永	4	0.5
四箇郷	24	3.1	小倉	13	1.7
中之島	16	2.1	加太	4	0.5
芦原	2	0.3	山口	6	0.8
宮前	22	2.9	紀伊	16	2.1
湊	10	1.3	雑賀	37	4.9
野崎	31	4.1	雑賀崎	2	0.3
三田	8	1.0	和歌浦	18	2.4
松江	21	2.8	名草	36	4.7
木本	26	3.4	田野	0	0.0
			市外在住	19	2.5
			合計	762	100.0

【Q3】食料、日用品など日常の買い物で最もよく利用するお店はどのような業態ですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
個人商店	1	0.1
地元のスーパー	538	70.6
大手の総合スーパー	167	21.9
宅配サービス	10	1.3
移動販売車	0	0.0
百貨店	6	0.8
コンビニエンスストア	8	1.0
ドラッグストア	29	3.8
その他	3	0.4
合計	762	100.0

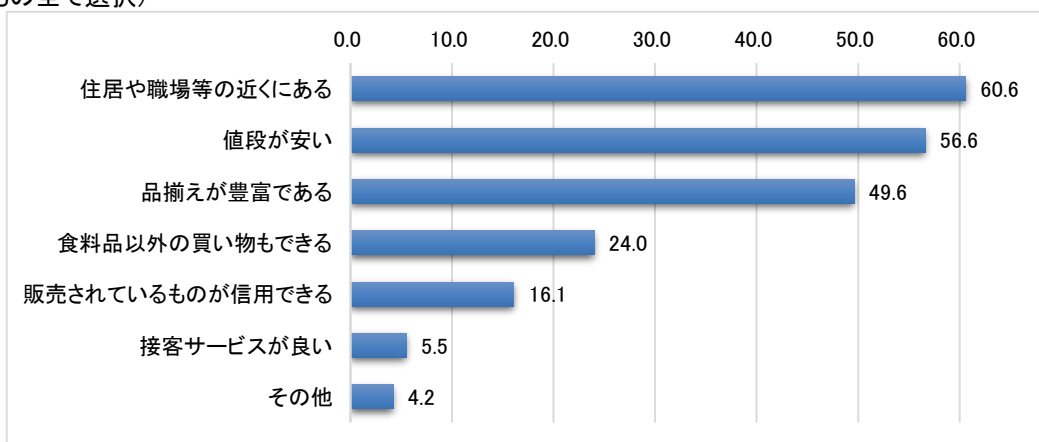


【Q3-1】その他(対象3人)

- 遠方のスーパーマーケット

【Q4】Q3で答えたお店を利用する理由は何ですか？（あてはまるもの全て選択）

内訳	人数	%
住居や職場等の近くにある	462	60.6
値段が安い	431	56.6
品揃えが豊富である	378	49.6
食料品以外の買い物もできる	183	24.0
販売されているものが信用できる	123	16.1
接客サービスが良い	42	5.5
その他	32	4.2



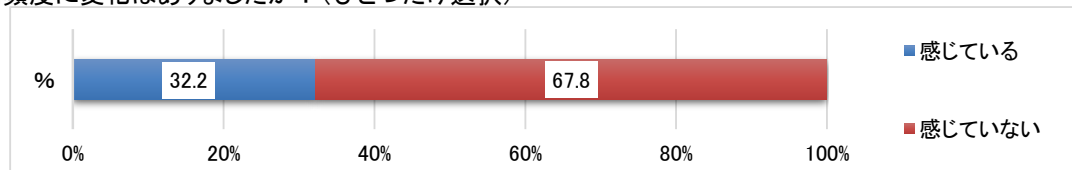
【Q4-1】その他(対象32人)

- ポイントを貯めているから。
- 地元で採れた新鮮な野菜が安く買える。
- 家から近い。
- 買い物袋が無料。
- カードポイントが付く。
- 車に乗れなくなったので市民生協にお願いしています。
- 一番近いから。

- ポイントが貯まる。
- 私がいつも行く所の近くにある。多店舗ある為。
- 魚介類の鮮度が良い。
- 高齢者世帯で適切な移動、運搬の手段が無い。
- 近くにはコンビニエンスストアしかなく、どうしても車を使って移動しないと食料品等の買い物ができないから。
- 店舗へ行く手段がない。
- 地元の食料品店なので。
- 身体に安心安全な食材を取り扱ってるので。
- 広い駐車場がある。遅くまで営業している。
- 駐車場が広くて駐車しやすい。
- 駐車場が一階にあり、雨の日も濡れない。
- よく値引きされているので。
- 近くにスーパーがない。
- 買い物に出かける時間を省略できる。
- 新鮮さがよい。
- 自宅から近い。
- 24時間営業。朝から開いているので、子供の登園送迎後にそのまま買い物が出来て重宝している。
- 行き慣れてるから。
- 宅配サービスがあるので。
- カード決済
- 近いから。
- 他店よりは良い品物がある。
- ポイントサービス
- 帰路にあり都合がいい。
- 袋が無料だから。

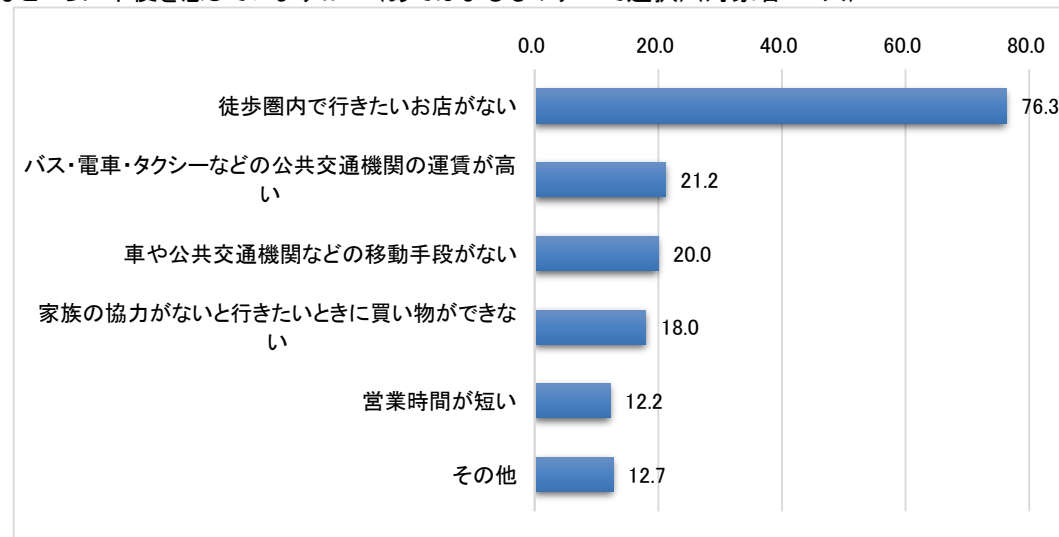
【Q5】5類感染症移行後、コロナ禍と比較して、日常における外出頻度に変化はありましたか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
感じている	245	32.2
感じていない	517	67.8
合計	762	100.0



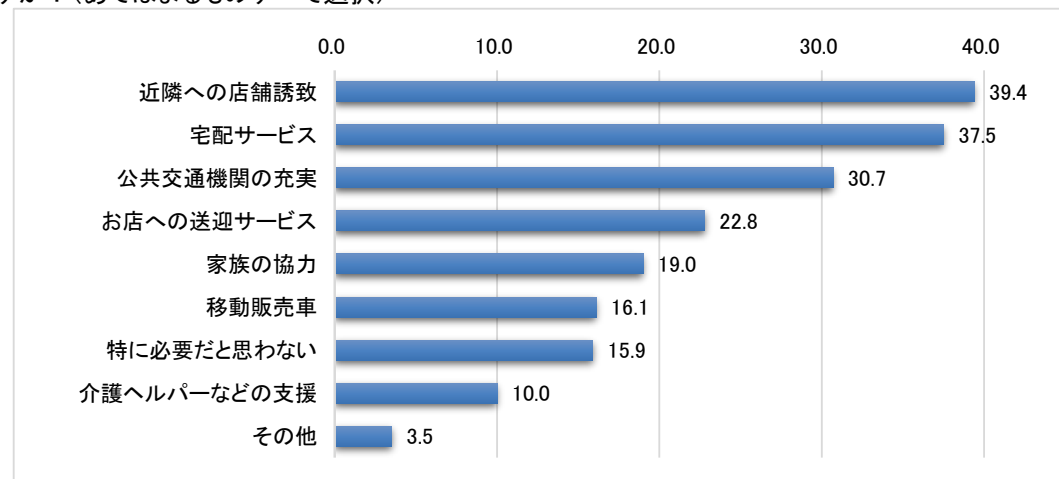
【Q6】Q5で「感じている」と回答された方にお聞きします。どのようなところに不便を感じていますか？（あてはまるものすべて選択）（対象者245人）

内訳	人数	%
徒歩圏内で行きたいお店がない	187	76.3
バス・電車・タクシーなどの公共交通機関の運賃が高い	52	21.2
車や公共交通機関などの移動手段がない	49	20.0
家族の協力がないと行きたいときに買い物ができない	44	18.0
営業時間が短い	30	12.2
その他	31	12.7



【Q7】買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？（あてはまるものすべて選択）

内訳	人数	%
近隣への店舗誘致	300	39.4
宅配サービス	286	37.5
公共交通機関の充実	234	30.7
お店への送迎サービス	174	22.8
家族の協力	145	19.0
移動販売車	123	16.1
特に必要だと思わない	121	15.9
介護ヘルパーなどの支援	76	10.0
その他	27	3.5

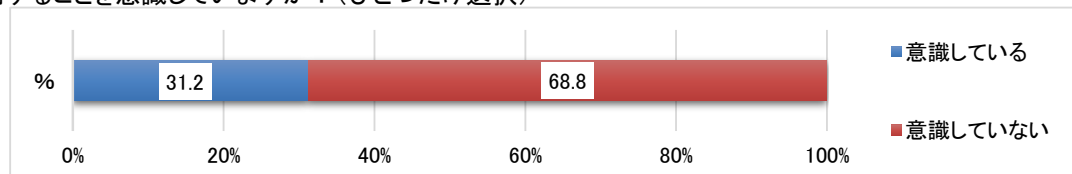


【Q7-1】その他(対象27人)

- 駐車場
- 仕事の帰りでもよれる営業時間拡大。夜10時頃までの営業。
- 駐車場の止めやすさ。
- 駐車場必須
- 健康作り
- 今のところ不便を感じていない。
- レジ袋が有料なのが困る。無料で頂けるスーパーは有難く感じます。
- 人手不足を解消、パートやアルバイトの店員を増やす。
- 子供カートの充実
- 営業時間延長、道路の渋滞緩和、交差点・信号の見直し。歩者分離式の多さと時間をなんとかしてほしい。
- 道路の渋滞緩和やガソリンの値下げなど、車での移動負担軽減。
- 地元消費が地域社会と地域経済にいい影響を与える大切な行動だという市民の意識改革が大切。
- 宮地区、戸建てが増えているので、鳴神あたりにスーパーがあると凄く助かります。
- 体力の維持
- 公共機関の乗り物の運賃の値下げ、公共機関の乗り物の運転士さんなどの質向上。
- 駐車場の広さ
- 安く新鮮なものが販売されている。
- 子供が乗れるカートが全ての出入り口にあることや、安全に乗れるものを準備していただけたら。
- 駐車場の広さ
- 車の駐車場
- 生鮮食品と日用品が同じエリアにあると良いです。
- お店の数を多く。品揃えを多く、品質を良く。
- ネット注文した商品をピックアップして駐車場まで運んでくれるサービス
- 価格の安さ
- 飲食店併設、ホームセンターや家電ショップなど複合施設
- 今ある店をこれ以上閉店させないこと。
- 和歌山は田舎なので車必須なのでガソリン補助金

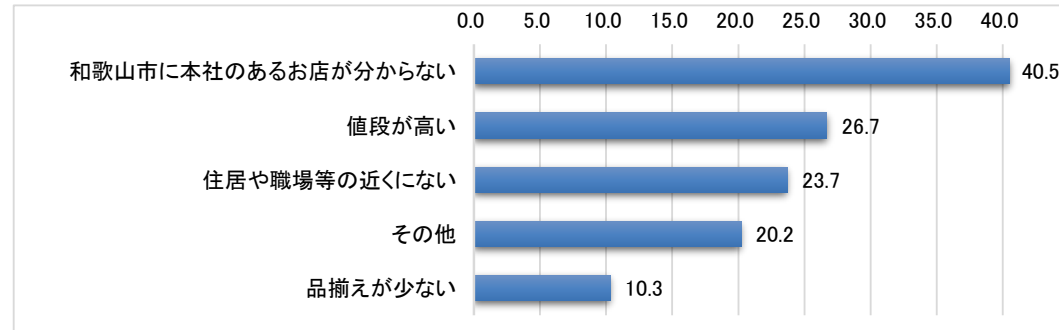
【Q8】日常の買い物をする際、和歌山市に本社のあるお店を利用することを意識していますか？(ひとつだけ選択)

内訳	人数	%
意識している	238	31.2
意識していない	524	68.8
合計	762	100.0



【Q9】Q8で「意識していない」と回答された方にお聞きます。日常の買い物をする際、和歌山市に本社のあるお店を利用することを意識していない理由は何ですか？（あてはまるもの全て選択）（対象者524人）

内訳	人数	%
和歌山市に本社のあるお店が分からない	212	40.5
値段が高い	140	26.7
住居や職場等の近くにない	124	23.7
その他	106	20.2
品揃えが少ない	54	10.3



【Q9-1】その他(対象106人)

- 品質があまり良くない。
- 店によって特売が違うから。
- 他のお店のほうが安い。野菜などの地元農家さんが売っているものは安いので野菜は時々買うぐらいで深く意識はしていない。
- 特に気にしていないのでそうである場合もそうでない場合もあります。
- 和歌山市に本社があるお店で買い物はするが、和歌山市に本社があるかどうかを意識してお店選びをしているわけではないから。
- あまり気にせず、安さを優先している。
- 気にして買っていない。
- 市内であろうが県内であろうが全国チェーン店であろうが買いたいものがそこにあるかないかで使い分けるのは主婦としては当たり前だから。後、出かけたついで買いかも仕方ないときはある。
- 和歌山市に本社があるということより、商品の価格・品揃え・利用しやすさなどを重視している為。
- 特に意識しようと思わない。意識する必要が無い。
- 和歌山県内の本社である事は意識している。
- その日に買いたい物によって、お店を選んでいるから。
- 食品の質があまり良くない。
- 品物が揃い、値段が手頃の店を選んでいる。
- 別に地元だからと意識はしていないが地元のスーパーが近くで便利なので買っています。
- その時々で欲しい物や自分の希望に合わせて店を選ぶので。
- 本社がどこであるとかは買い物には関係ない。意識していないのにこの質問が意味不明。
- 欲しい商品によって買い物するお店を使い分けてるから。
- 食品類の品質の良さ重視だから。
- 意識はしていないが、近隣の地元スーパーをよく利用している。
- 買いたい物がお店によって違うから。

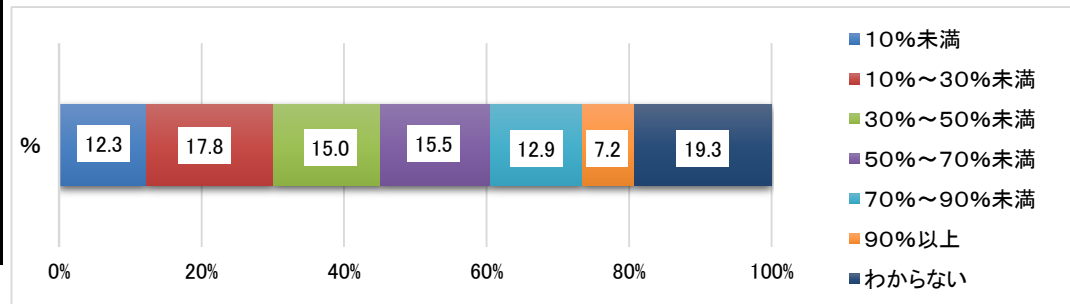
- 品物によって使い分けてるから、消費者にとって本社が何処かは問題ではない。
- 本社がどこに有るかより、その日何が欲しいかで買い物する店が決まる。
- 多分、いつも行っている店は和歌山市に本社があると思うが、そうしたことを意識して買い物する店を決めていない。
- 品質や価格等に本社の存在位置は関係ないと思うから。
- 特に考えたことはない。
- きにしていない。
- 仕事帰りに寄るのに便利なお店で購入している。
- 意識していないが和歌山に本社のあるお店だった。
- こだわりがないです。たまたま家の近くにあるスーパーの本社が和歌山であるというだけです。
- 家の近くで買い物しやすく品ぞろえが多くて安い店と考えるので和歌山市に本社のある店という考えがないから。気にしない。
- 必要なものを必要な時にリーズナブルに買えれば良いと考えているから。
- 住居近くにあるから利用しているだけで和歌山市に本社があるからとは別に意識していない。
- 近くを利用するから。
- 和歌山市に本社があるか、などではなく短時間に必要な物が揃い安く買えるかを重要してます。
- 本社がどこか気にしてかいいものしていないため。品質と金額で購入しているため。いいものを安く買いたい。
- 品揃え、値段が重要であつと地元の店がどうかは関係ないから。
- 意識していない。
- 本社の所在地は気にして買い物をしていない。売り出しをしていたり、その時いる場所から近かったりで選んでいる。
- 外国産かどうかは見るが、口にするものや生活必需品はまず安全かどうか新鮮かどうか、次に価格だろう。
- チラシを見て行くのでその時々で違う。
- 本社がどこにあるかは、買い物をする場所を選ぶ理由にならない。
- 欲しい物がある時に適した店に行くから。
- 特に意識をしていない。
- 欲しいもの、安いものがあればそれでいいから。
- 自分の好みの商品が無い。
- 和歌山市に本社があるのは認識してるが、それを意識して利用することはない。
- 近くにあるので特に理由は無いです。
- こだわりが無いため。
- 買い物しやすくお値打ちの品物を取り扱っていることが優先します。本社がどこであれ関係ないと思います。
- たまたま近くにあり良く利用するスーパーが和歌山市に本社があるだけで意識的にその店を利用している訳ではないから。
- 和歌山市に本社があるかどうか意識していない。
- 自宅から近い店舗を優先しているから。
- 和歌山に本社が有ろうが無かろうが関係なく、家の近くで買いたい時に物が買えるお店に行く。
- 特に気にしていない。必要なものが欲しい時にそれを取り扱っている店に行く。
- お店には買い物には行きますが特にには本社がどこだからとは意識していないだけで。

- 特に無いです。
- 理由はないですが特に意識して選んでいません。
- 特に気にしていない。
- その時に行きたいところに行くので特に意識はしていない。
- 家計のことしか考えていないから。
- 自宅は和歌山市内だが岩出市、貴志川町のスーパーを利用することが多い。自宅近くにもスーパーが再開(経営者が変わり)されたのでこちらも利用している。和歌山市に本社があるかどうかはわからない。
- そもそも意識していないため分からない。
- 特にどのスーパーで買い物するとは決めていないから。
- 特に意識して利用していない。
- 特に理由はない。
- 意識していないけれど、和歌山市に本社のあるスーパーが近いので利用はしている。
- どこも同じ品揃えで、面白みがない。
- 和歌山市に本社があろうがなかろうが、自分の欲しい物を欲しい値段で買えるお店に行きたいから。
- 意識しても個人的に還元されるものがない。
- 本社がどこにあって商品が安価、安全、安心ならば拘らない。
- 安くないから。
- 特になし。
- 和歌山市に本社があることでメリットが何かあれば活用するが、そういうメリットは感じない。
- その時に、必要なものが安価な所で購入するため。
- 常時、行く店舗がそうだから特別、意識していない。
- 本社がどこかは関係無く、自分の生活スタイルに合った、買い物しやすい店へ行くから。
- 利便性以外は特に意識していない。
- 和歌山市に本社のあるお店しか、近くにないので、意識していない。
- 本社がどこにあるかで買う場所を決めているわけではない。
- 理由はない。
- 価格重視のため。
- 単純に意識していないだけ。
- 近場のお店がないので選択肢がない。
- 和歌山県内のお店は意識するが市内とは意識しない。
- 何も気にしていない。
- 品揃えや値段を見て買うので、本社がどこにあるのか気にしたことはない。
- 本社がどこかに興味ない。便利さ優先。
- 自宅からの距離、近さで店を選んでる。
- 理由さえない。本社がどこだか思った事自体ない。でも結局数多く出店されてるのでそこで買うことは多い。

- 特に無い。
- 行ったついでに買い物するから。
- 特に気にして買い物していません。
- そもそも和歌山市に本社のあるお店しか、近隣にない。
- たまたま、近いお店で買物をしている。
- 本社がどこかではなく安さに重点を置いているので。
- どうでもいい。
- 一番優先したいのは品質だから。
- それぞれのお店によさがあるから。
- 特別、全てのことにこだわりが無いため
- 意識はしていないが必然的に買い物しています。
- 新鮮でない。
- 近くて安いところに行ってしまう。
- 広すぎる。

【Q10】日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店での消費額は、全体の消費額のうち最も近い割合はどれですか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
10%未満	94	12.3
10%～30%未満	136	17.8
30%～50%未満	114	15.0
50%～70%未満	118	15.5
70%～90%未満	98	12.9
90%以上	55	7.2
わからない	147	19.3
合計	762	100.0



【Q11】地元消費(Buy Local(バイローカル))等に関するご意見などありましたら、ご記入ください。(任意)

- 地元のスーパーは駐車場が狭く営業時間も短い。品揃えもまあまあのので一気に買い物しようと思うと大手に行ったり何軒も回らないといけなかったりする。あと地元のスーパーは売り場が汚れていることが多い。
- 三田地区には大手の食料品の大手スーパーは無し。
- 地元の店に当たるのがどこか知りたいです。
- 私の家族も、地元でお買い物します。慣れた所のほうが買い物しやすい。高齢者や、障害者には、インターネット販売は難しいです。皆パソコンやスマホ持っているわけではないし、移動販売を使っている高齢者の家族もいます。やはり地元で自分の目で品物見て買い物したいです。
- 地産地消とは少し認識が異なるのでしょうか。個人的には地産地消の方が馴染みがある言葉です。和歌山市に本社がないとバイローカルにはならないんですかね。和歌山県とかもう少し広く見てもいいような気がします。

○ 地元のお店と言えば、ぶらくり丁を思い浮かべます。和歌山市の中心地に構えた一大商業地だったはずなのに、今や見る影もありません。シャッター商店街となり果てた姿を見ると、本当に残念でなりません。私はまだ若く、ぶらくり丁全盛期を知りませんが、それでも子供のころは自転車で出かけてはぶらくり丁内の映画館で映画を見て楽しんだ記憶があります。その頃にはぶらくり丁は既に末期であり、ショッピングモールの襲来で映画館も含め、全て共倒れとなりました。もし、ぶらくり丁に活気があふれて、容易に出かけられる交通網があれば、恐らく私自身は今となっては出かけていたことだと思います。ぶらくり丁の再興は、和歌山市が幾度となく支援してきたことだと思います。いつかは活気を取り戻し、ぶらくり丁内に構えた地元商店で消費したいと思っております。需要を確保し、通いやすい立地を提供する、これは、再興には必要不可欠なことだと思います。例えば、大学の前に商店街が並び、学生で賑わっているのを見たことがあります。ぶらくり丁には、丸正百貨店跡地に和歌山市立大学を建学する構想があったと聞きますが、もし完成してればぶらくり丁は学生で溢れる学生街になっていたのではないかと思います。大学の目の前が商店街なので、学生なら立ち寄ることは間違いありません。また、理学部など和歌山にまだない学部であれば県内の学生の受け皿にもなります。私自身、高校時代は物理学科に興味がありましたが、近場だと大阪市立大学(当時)に行くしかなく、理学部ができればよいのと思っていました。もしぶらくり丁の敷地内に、和歌山市立大学(私立大学の誘致なども含む)ができれば、学生で賑わい、学生をターゲットとした商店も立ち並ぶのではと思ったりします。加えて、やはり交通網は重要だと思います。私は車の運転ができません。そんな私は、緊急事態を除いて車を運転することはないように願っていますが、故に交通網が悪い場所にあるお店にはいけません。例えば、湊地区には鉄道や路線バスがなく、紀ノ川以北の国道24号線沿いの飲食店などは車がなければ立ち寄ることすらできません。そんな状況ですが不思議なことがあります。それは、和歌山城という和歌山随一の観光名所、和歌山市役所や和歌山県庁、税務署、地方裁判所といった公的機関や、和歌山県立博物館や近代美術館、県民文化会館などの催し物など文化的な中心地など、多種多様な分野の施設が集まる正しく和歌山の中心地であるにも関わらず、鉄道網がゼロであることです。バスは運行されていますが、それでも和歌山市中心部が鉄道空白地帯なのはおかしな話です。以前、南海和歌山軌道線という路面電車が運行されていたことは、歴史的な写真でお目にかかることができます。和歌山駅や和歌山市駅、和歌浦を經由して海南駅まで繋がっていたと聞きます。正しく中心地を網羅する中心路線が過去には存在していたと聞いて、残念に思いました。大阪でいうキタとミナミのように、和歌山駅と和歌山市駅は和歌山市の2大ターミナル駅ですし、海南駅まで接続していたなら、海南市を和歌山市のベッドタウンとして大阪府でいう堺市のような位置づけとすると、御堂筋線のような綺麗な中心路線になったことは間違いありません。先日、熊本市に所用で出かけた際、熊本市電(路面電車)に乗りました。新幹線も停車する中心駅である熊本駅も活気がありましたが、熊本市の中心地は熊本城下です。桜町と呼ばれた町は熊本駅から離れているにも関わらず、路面電車やバスが人々を休みなく運び、観光客で賑わっていました。栄えている桜町を見下ろすように傍でそびえ立つ熊本城は圧巻でした。和歌山城は、どのような気持ちで今の和歌山城下町を見ているのでしょうか。桜町は1階がバスターミナルとなっており、2階以上にある飲食店や小売店などと直結した複合型の施設で、屋内なので雨でもバスを待つのを気に病むことはなく、2階に上がれば暇つぶしできる店が数多くあります。地元の店かは分かりませんが、中心地に居を構える施設ということもあり、活気に溢れていました。和歌山市は和歌山市駅からきのくに線まで、市の中心部を囲うように半環状路線があり、そこから外側に放射状に鉄道(南海加太線、南海本線、阪和線、和歌山線、和歌山電鐵貴志川線)が伸びています。これは非常に充実した交通網です。ただ一点、市の中心部すなわち半環状内に路線がないことです。これじゃあ、ぶらくり丁に行くよりも、和歌山大学前駅直結のイオンモール和歌山に行った方が楽だし、今となってはぶらくり丁にそもそも店もあまりないので、わざわざ行く価値がなくなっています。これは由々しき事態ですし、悲しいことです。何とかして欲しいと切に願っておりますが、近年LRTに関するプロジェクトチーム「『まちのシンボル』次世代交通の導入プロジェクトチーム」の報告書などで真剣に議論されているのを見て、LRTに非常に期待しています。なかなか担当してくださる事業者がいらないとは思いますが、何とか実現していただきたく存じます。ぶらくり丁のアピールや再興に非常に重要ですし、なにより和歌山市で路面電車に乗ってみたい、そう思います。このままぶらくり丁での商いが賑わってくれば、きっと、ぶらくり丁に行く頻度が増えると思います。私自身、必ず行きます。

本来であれば、和歌山IRが良い契機となるはずでしたが、頓挫してしまった今、何とか踏ん張るしかありません。ここで何もしなければ今よりも急激に衰退していくのみです。これから人口が減って日本はどうなるかを議論する際に、先行例として和歌山市がモデルケースにされている現実をみると、和歌山市の終焉が音をたてて迫って来ているように感じます。スギ薬局や東急ハンズなど、近畿地方で和歌山にだけ店舗がないという店は意外と多いです。本当に多いです。これは、和歌山なんかに出店してもなと思われているってことです。それに和歌山衰退を実感できる良い例としては、和歌山駅東口再開発に誰も名乗り出なかったことです。和歌山駅周辺の一等地の再開発に、そこまで価値がないと思われるのは、悔しくて仕方ありません。地元を盛り上げるために、地元の物を買うのは良い取り組みですが、このまま何もせず手をこまねているだけでは、後退する一方です。IRに反対した和歌山県議会議員は、何か素敵なアイデアを提案して、実施してくれているのでしょうか。その素晴らしい案で、和歌山に活気が出てきているのでしょうか。県のことについて、今はどうでも良いですが、和歌山市としてできる政策を実施していただきたく存じます。例えば、先ほどの熊本市など、中心駅が中心地から離れており、中心地は城下町という例は和歌山市と似ており、和歌山市の今後を考えるうえで良いヒントになります。熊本市はそのような創意工夫で最も新しく政令指定都市になった都市なのだから、見習うべき点は多いです。個人的には、和歌山市内に熊本市電のようにLRTを通すことで、地域を活性化して欲しいと思います。和歌山城の木造再建やぶらくり丁に大学を建学など、地域を盛り上げて消費を活性化させ、小売店や企業を誘致し、経済をまわして欲しいです。熊本駅のように、四国新幹線紀淡ルートで和歌山まで新幹線が来れば、観光にも大きな力になりますが、市町村レベルではどうしようもないことです。市としてできることをして欲しいです。姫路市並の人口(50万人程度、最盛期の和歌山市の人口よりも5万人程度多い)まで人が集まれば万々歳なのですが、非常に難しいです。そもそも惜しい部分が多かったです。例えば、南海電鉄が和歌山駅に乗り入れる案は昔ニュースになりましたが、遅々として進みません。和歌山IRにばかり和歌山駅東口再開発にばかり、ことごとく頓挫し、現状維持で衰退していくという流れを止められません。LRTを設置するくらいの大規模な何かが必要なのではないかと思えます。和歌山市を応援していますし、何か力になれることがあるなら、寄付なども行っていきたいと思っているので、是非とも和歌山市の発展のために、ご尽力を何卒よろしく願い申し上げます。

- 地元で消費したいが、やはり安い店や品物が豊富にある店、一度で食品から衣類など全てが揃う店に足が向きます。昨年あったような地元で買うとお得になる商品券を販売して欲しい！
- 本数が少ない。
- どの店が、どの商品が地元消費になるのか告知してほしい。
- よってってなどの地元のものを取り扱うお店がもっと増えて欲しい！今岩出や貴志川まで買い物に行きますが、和歌山市にも作って欲しいです。
- 地元とか関係ない。安く販売してるお店で購入する。地元のお店と安価なお店と価格が同等なら地元のお店を選ぶ。
- 野菜や果物など、スーパーでも直産で買える所はあるが、海外のようにファーマーズマーケットの催しがあったら行ってみたい。
- 宅配サービスを利用したいが、和歌山市に本社を置くスーパーでは、5000円以上商品を購入しないと送料が無料にならないので、利用を躊躇している。
- 和歌山市内にこだわるよりもより良く快適に買い物ができるようにもっと大型スーパーの誘致をそれこそ和歌山市内に持って来て欲しいです。結局 郊外に出なきゃ欲しいものが無いとか交通便や遠くに出れない人は打算でここでもいいやになってる人も少なからずいるのはいますから。
- 地元和菓子屋復活したお店なので是非応援したい。
- 価格や鮮度など未だ未だ検討して欲しいです。又宅配サービスは一部あるが出来れば沢山のお店もしていく方が良いのでは。個人店は厳しいと思う。これからの高齢者世帯が増えてくる中検討のよちがあるのでは電話注文とかならお年寄りも出来るのでは。
- 普段、買い物するスーパーは、本社の場所が何処にあるかを気にしていません。地域振興券があった時には、参加店を探したりしましたが、普段の買い物では良いものを安く、出来れば地産地消でと考えるだけで、和歌山市のお店で買うという意識しかありません。どうしてもネットでしか取り扱いの無いものや価格が格段安かったりすれば、ネット注文します。和歌山市にあるお店で買うというところまでは、多くの方が協力してくれると思いますが、本社が和歌山市のところで買おうは難しいと思います。
- 地元消費は積極的に行きたいと思っはいるが、最近の物価高騰・収入の水準は以前から変わらないなど経済的要因により、より安くて手に入りやすいものを選ぶことしかできない状況である。
- そもそも和歌山市に本社のあるスーパーがわからないのと、そのスーパーで和歌山産の物が売られていないと意味が無い。又、自分はまだ40代で車の運転も出来るが、高齢になり、運転免許証を返納した場合の買い物には非常に不安がある。
- 出来れば地産地消。

- いいことだと思うが、どうしても安いほうへ行く。何らかの地元のメリットをだしてほしい。
- もっと身近に店舗が欲しい。
- パイ ローカルと少しも意識せず100%利用していることは有りがたい事なのですね。
- 和歌山は地元スーパーが店舗数も多く元気に経営されているので身近にあり大変良いです。また、各チェーンさんも地元商品を率先して応援、販売に力を入れていてくれています。
- 和歌山は野菜も果物も安くて美味しい食材がいっぱいです。これからはずっと利用していきたいです。
- とにかくお店が近くにない。車を所有していないので、日常の買い物に困っています。
- 意識したくてもついつい安いところで買ったり、面倒だからネットで買ったりしてしまう人が多いと思います。小学校での授業で取り上げたり、小さい頃から意識づけするのも良いと思います。あとは、スタンプラリーとかコロナの時の地元を支援するキャンペーン等があれば、皆が意識をして利用すると思います。財源が問題ですが。
- 和歌山市東側は店舗が限られるのでどうしても岩出市のほうに車で出掛けてしまいます。
- 地産地消は地元を盛り上げる為には必須条件だと思う。加えて地域の小売店を利用すれば更に良い。そうなるように地元生産品の品質や価格、品揃えを強化すべきだと思う。
- レジ袋無料化希望します。
- 価格、品揃え
- 和歌山産の野菜を買おうと意識はしています。商品に『和歌山工場で作りました』というポップを、見た時は買おうと思いました。市内本社のスーパーってありますか？そこまで気にしていません。
- せめて同じ価格にするべきだと思います。アイスや菓子等、高い。
- 和歌山市に本社があるお店が判らないので、そして、意識して利用することがないので、その方向で利用させたいなら、何かの認定制度などが必要では？と思います。結局、法人税の税収アップを考えられているのですよね？ 優遇制度や助成などを創設したり、認定マークを掲げさせたりして、和歌山市民が利用する際に優遇や特典が受けられるというような仕組みがあったら良いのかな？と思います。
- 時代とともに スーパー形式になり、なるほど品数は置いてありますが、欲しい商品は限られています。広い店内を探して回るのも疲れます。その点個人商店に行けば欲しい商品だけ購入出来便利です。
- 和歌山市に本社があるスーパーなんてまったくわかりません。
- 実際に買い物する時に意識するのは、和歌山市に本社があるかどうかということより、和歌山県産であるかどうか、という事の方が多いと思います。
- 和歌山城西ノ丸広場にある店舗を観光客だけでなく地元の人々を積極的に呼び込む食品や催しをやって欲しい。和歌山市のトップレベルの観光地を盛り上げることにも繋がる。
- 月に、2,3回は、地元野菜の店で購入するようにしている。
- 日常使いは地元外の店に行きます。
- 楠見地区は、よく回覧板にも、楠見は一つなど書かれています。パイローカル精神で、和歌山は一つ。居住区は違っても、買い物で地元の会社を積極利用していかねばと思いました。
- 引越してきたので、どこが地元の店なのか分かりにくいですが、地元のスーパーが安いので少し遠くても行くようにしている。ただ、品揃え的に大手スーパーも利用している。
- もっと誘致や店舗数を増やせないか？
- 店舗が無いので
- 税収の問題等含め地元消費するように努めているが、ネットの方が便利だったり安かったりするのですべて地元というわけにはいかない。

- 地元消費を推奨するのはわかりますが、地元だからより新鮮な品を置くとか、売れるための価格の努力など店に協力や提案などを市としてやっていただく方がいいと思います。地元だからというだけの活動は消費者には受け入れられません。
- 頑張ってください。
- 地元スーパーでは地産地消の観点から地元の農家さんの野菜を店頭にならべています。和歌山payでは地元消費のクーポンと全国利用可能なクーポンを分けてお得に買い物できるようにしてくれて、今年の冬はそれで灯油をかつたりしました。ただそれに加盟している店舗がなかなかなくて探すのに苦労しました。行政がサポート体制をとるなり、新しい取り組みももっと必要だとは思いますが。飲食関係だと大きなイベントに仮設店舗販売とかがより促進されればいいですね。地元の美味しいスイーツ、とか食べ物も多いですし。
- 地元野菜のクオリティ(糖度、旨味等)がもう少し高いと、たくさん購入したい。
- 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))を実現可能とする手立てを充実、確立する必要がある。
- 価格競争では、大型店などに負けてしまうので、個人店ならではの強みを出す。
- 巨大な雇用を生み出し活性化している現在の市場の仕組みに逆行し、市民の善意に期待するような施策ではなくて、行政としてお金をかけて活動すべきは起業促進、企業誘致、農業法人設立促進、観光促進整備、土地活用の活性化であると思う。例えば大都会の市民が地元消費を行ったらどうなるか？考えてみてください。ふるさと納税など地域への還元が無くなります。
- 和歌山人は地域意識が低くて、ブランド意識がたかいけど、価格にシビア。
- 物価やガソリン代、経験したこともないほど高く、地元消費を心がけられるほど生活に余裕がない。人様の生活や会社を守る以前に自らの生活を守るのに必死です。
- 私の家庭では近所の個人商店で買うことや、和歌山県発のスーパーで買うことを意識していますが、免許を返納した家庭の方などは日々のお買い物が大変そうです。けれど本人がスーパーの宅配等を使うこともシステムを理解できず難しいようです。そのため遠方から家族が食べ物を送ったり、大手通販から食材を届けたりしているようで、地元消費どころか配達燃料代が余分にかかって良いことがないと感じています。買い物代行を含めた介護サービスをうまく広げられたり、ファミリーサポートのような年配者家庭の支援を行ったりできれば、地元で食材や消耗品を買いやすくなるのかなと思います。
- 本町エリアに息子家族が二世帯すんでいます。本町エリアに和歌山企業のスーパーが無いのが不便である。ぶらくり丁の空き店舗をまとめてスーパーを誘致していただきたい。
- 最近近隣にある地元資本のスーパーが撤退、その地区に住む、家族、親類が買い物に困っています。(歩いて行ける場所がなくなることは、高齢者にとっては大きな問題である。)生活必需品を取り扱うスーパーの撤退については、該当地区住民の生活に直結する問題であることから、行政が関与し、撤退する場合は、何らかの対応策を行政が中心となり導入し、地区住民に事前に説明することを制度化してほしい。
- 高齢者なので毎日運動がてら買い物をするようにしている。通常の店、雨の日利用できるよう駐車場が屋内にある店、品ぞろえが豊富な少し大きい店の3つを使い分けています。運転免許を返納すると買い物ができなくなるので、自動運転の車が出てくるまで自力で運転するよう頑張っています。
- 和歌山南スマートインターの近くに、スーパー、できればショッピングモールを誘致してほしい。山東、安原にはスーパーすらない。地元消費以前の問題。
- 農産物直売所をもっとふやすべき
- 地元の企業と産業を支えるために企業だけでなく和歌山特産品も置いて欲しい。
- 以前は地元のスーパーをよく利用していたがコロナ禍あたりからかなり価格感が変わったように思う。その頃からメインでは買い物しなくなった。そしてこのところの物価高でどこも値上がり。和歌山県の地元スーパーも利用するが、大手の激安スーパーに行くことも多くなった。馴染みのある地元スーパーもいいけど、やはり安さには敵わない。地域住民に地元スーパーで使える商品券や優待券があればもう少し意識して利用すると思う。
- 地元消費は生産者の立場からすると、大いに進めてもらいたい。和歌浦の水産物や水産物加工品、和歌山市北部や南部の野菜、和歌山市東部の果物などを生産者・消費者をうまく結びつける施設の設置を求めたい。
- バイ ローカルが出来る環境を行政で応援してほしい。

- 近くにあった唯一のスーパーが閉店し、私は車があるので仕事帰りに買い物へ行けませんが、高齢の方は電車を利用してもスーパーまで徒歩時間が長く、大変不便です。
- 岩出市の様に大阪にもあるような店舗を誘致して欲しい。紀南の人でも和歌山市ではなく岩出市に買い物に行ってしまう。税金を落として欲しいのであれば誘致を検討して欲しい。
- 訳あり商品の格安販売や消費期限前の限定特売販売など、バラエティショップがあればもっと消費が高まる。
- 日常の食品等買い物は地元のスーパーや産直が殆どですが、残念ながら、その一ヶ月分の金額が、他府県での飲食代一回分にも満たない！現状にあります。
- 生鮮食品や野菜は地元産のものを購入したいし、和歌山市和歌山県の企業を利用したい。企業側もその点のアピール、品揃えを意識してほしい。
- ポイントも嬉しいですが、現金値引きも魅力的です。
- お店も、もっと和歌山産をアピールしてほしい。地元コーナーなどがあれば良いのに少なすぎる。
- 欧米の取り組みを真似する前に徒歩圏内で買い物ができるよう、店舗誘致や都市計画を緻密に練る必要があると考えます。また、人口減の中、営利企業であるスーパーマーケットの運営企業が出店しようとはしない事は容易に理解出来るはずで、様々な店舗の出店を促すためにも人口増をまずは目指すべきでは？
- 最寄りのスーパーはクルマで10分弱かかるが、いまはクルマに乗れるので、実感が湧かない。もっと近くにお店があれば、というのは贅沢であろう。
- 和歌山県で生活するためには車が必須なので、広い道路や二車線の道路が増えてきて、いろんなところにアクセスしやすくなっているのは助かっています。
- これからは利用する。
- 路面電車復活&地元商店集約でシャッター通り解消。商店街が疑似的なショッピングモールと化せば、市民35万人の購買力で発展可能。
- 1、地元の店舗や会社が無くならないようにサポートすることにより人や物の流れが活性化され犯罪等の抑制にもつながる。2、地元で飲食すれば雇用が維持され地元の農産物等が消費されやすくなる。3、地元のサービス業を活発化すれば雇用や経済を刺激し後継ぎや過疎化の問題を減少化させられる。以上、地元消費は地域の人、物、建物、交通等の持続可能性を向上させコミュニティの維持にも寄与するので公的サポートは大切。具体例として一つ挙げる。市役所の会議の報道等でも大手飲料メーカーのペットボトルのお茶が登場するが地元の茶舗の茶葉を利用する工夫は無いのか考えさせられる。
- もっとPRした方が良い。
- 外国語を使うと「いかにも」と勘違いを起こすが、何を訴えたいのか分からない。昔は、地元の物を地元で賄いが出来たが、少し会社が大きくなると、本社を東京へ持って行きます。それを、地元に戻す政策が先でしょう。
- コストパフォーマンスや買物のしやすさ、など利点があれば地元消費したい。
- 地元野菜を流通コストの削減や規格外野菜などを安く提供してくれるなら地元産を買うことも増える。ただ、「和歌山市に本社があるから」という理由で買うことはない。水のサービスを辞めたのでその店舗に行くことがなくなり、結果購入はなくなった
- 安く良いものを売っていたり、和歌山の特産品が手頃になると嬉しいです。めはり寿司やサンマ寿司が食べたいです。
- 車を使うので駐車場の広いところに行ってしまう。
- 個人商店や地元の商店街は大手のスーパーなどの値段が安いや総合力で負ける。子育て世代等のお金が必要な家庭ではそこを何とかしないと地元消費の向上につながらない。
- 和歌山に本社がある会社はもっとアピールすべきだと思います。引越してきた人はわかりません。
- 地元で採れた新鮮な野菜や魚を安くで購入できれば消費者としては嬉しいです。地産野菜コーナーがあったり、地産魚を販売してるのはありがたいです。高くなければ買うようにしてます。
- 野菜については、どこの店で買っても野菜や果物、水産物は地場産品にこだわっています。理由の一つは新鮮だからです。
- 地元の仮想通貨で買い物出来る仕組みを作って欲しい。

- バイローカル、初耳でそこまで世間には浸透していない。
- 地域経済活性化のためには、地元店舗で消費することが大切だと思っています。
- 土日に朝市を開催して、多くの空き地や広場(例えばファミリー層の多く住む地区の公園や公共施設)を利用し、安くて美味しい農水産物を販売すると良いと思う。一定の需要は見込める。和歌山城前の広場での催しやキッチンカーばかりの集まりはお客が偏ってしまい、車では行きにくい、行く人は限定される。もっと色々な地区・地域でバイローカル促進の催しを開くべきではないでしょうか？
- その言葉を意識して買い物をしたことはありません。年金生活なので、少しでも安い店で買い物をしたいと考えています。和歌山市に本社があるスーパーが安ければ買い物に行きます。
- できるだけ地元の企業でと思っているが、最終的には品質と価格で決めることになってしまう。
- 和歌山の店の中になんかの確率で雑な顧客対応をする店があり、そういった店は買わないよう心がけている。バイローカルを標榜するなら和歌山の多様な店舗全体に波及するよう進めてほしい。
- 魚や野菜が新鮮なものを扱う店を探して行っていますが、近隣になかなかないのが悩みです。
- 守らないといけない。
- スーパー本社が和歌山にあるか、調べていないし、わからない。また最近では産直の店が多くなり、そこを利用することが多くなった。どんな店も和歌山産だけを取り扱っているわけではない。
- 地元のスーパーが最近閉店しました。そこは近隣のお年寄りが歩いて来られている印象がありました。そういった方々への買い物支援について考えていただきたいです。
- 近くにお店あればいいと思う。
- 地元住民に何かの還元をお願いします。
- 地場産の商品を購入する事で、CO2の削減量や、地元を経済的にどれくらい寄与しているか、具体的に知ると地元消費に繋がると思います。
- 市内中心部だが、軒並み徒歩や自転車圏内で行けるスーパーが倒産や撤退した。マンションは増えているが、買い物に困ることがある。地元スーパーなどが中心部で頑張してほしい。
- 恥ずかしながらバイローカルという言葉を知りました。これから少し意識して購入してみようと思います。
- 欧米をはじめとか欧米でも流行ってるか疑問なことを世界の流行と勘違いしてやるのはやめてください。
- 和歌山市内に本店、拠点がありますというのを掲げてないと外部からは分かりにくい。そして店舗も少ないから近くにないと日常的に行かない。
- 徒歩10分程度の場所でBuy Local のお店が出来たら最高なのですが。期待しています。
- 和歌山産のものが分かりにくい。
- 国内企業であれば本社所在地を気にしすぎるのは好ましくないと思う。
- 今すぐに、県や市が買い物券を発売すべきではないかと思う。
- 地元消費は新鮮で地域活性化にもなり積極的に活用すべきと思う。
- スーパーではなく 産直ショップは信頼できるのもっと拡大して欲しい。特に果物は、和歌山は品質もよいし農家支援のために必要。
- ローカルな産直のお店は安いし、新鮮だし、いいことばかりだと思う。近くに駐車場の広いお店ができれば、徒歩圏内のスーパーよりもそちらでメインの買い物をしたいと思う。子どもたちが帰省すると、時には岬の道の駅まで買い出しに行くが、新鮮な魚介類が手に入るの、とても喜んでくれる。
- 吹上地区に地元のスーパーを誘致してほしい。立て続けに2件なくなって、困っている。
- 消費者望むものを提供すれば、自然と消費につながると思います。消費→企業からの税収増→地域サービス向上(自分への還元)の流れは理解できますが、目に見えての地域サービス向上が期待できない。

- 高齢化に向けての対応策を希望する。
- 大手スーパーなどとの競合は難しいにしても、ローカル店だからできる狭く深い商品のラインナップや客へのアプローチなどを取り組んでいってもらえればと思います。コロッケを例に出せば、大型店は沢山売れるが、沢山売れるが故に注文販売は不可。小型店舗なら注文をもらってから揚げて熱々を持って帰ってもらうことも可能。大型店舗では拾えないサービスを地元店舗でサービスとして価格転嫁するのはいいのかなと思っています。
- 地元消費したい気持ちはありますが、経済的理由で安い方に行ってしまいます。家の近くにあるのも理由です。地元の店より安くて近かったら(徒歩で行ける)やはり、そちらを利用してしまいます。
- 先日更新してきましたが、あと3年で運転免許証を返納するつもりです。今は不便はありません。車がなくなるとBuy Localでバスを使うつもりでいますが、2人分の食糧はまとめ買いを1回/週するとして、重い袋などを数個持って帰りのバス停までの移動は体力的に大変です。対策例 1. 高齢運転を続ける。2.バス:a.スーパー前にバス停をつくる。b.増発。c.買い物マイクロバス路線の検討。
- 企業ではなく中小の店舗を気軽に訪れられるように、無料駐車場の整備や店舗の集約化(に向けた補助金や助成金の整備)を実施してほしい。
- 大切な事だと思います。少し離れてお店に行きたくても、バス代は高いし本数は少なすぎるし、どうしようもありません。
- 和佐地区は、田畑が多い場所で商業施設はほぼない為、和佐地区から和歌山市、岩出市、紀の川市への道を片道二車線に広がると買い物に行きやすいです。
- 大手スーパーは、仕入先が大手卸であり、地元は排除されている。地元の問屋ももっと大事にしてほしい。メーカーも同様である。スーパー利用者は地元の方々である。
- 活気のある店舗にして欲しい。
- 今は地元消費うんぬんより価格がどれだけ安いかがの方が大事です。その次に品質かな。
- 地元消費は大切だと感じます。地産地消、近隣の地域で生産された作物の方が、新鮮なものが、運搬されずに消費出来ます。
- 住んでる地区内にはスーパーがなく、食料品を扱う個人商店もほぼありません。自転車、自動車に乗れる人はどこでも買い物できるが、高齢者が多い地区なので、地区内にコンビニじゃないお店が欲しいです。
- 地元スーパーも良いけれど、大手が撤退してしまったらもっと寂れる。
- 和歌山市内のスーパーの本社が何処にあるのか今回のアンケートを機に調べてみました。今までバイローカルを考えた事がなかったです。もっとバイローカルについて色々な情報発信をしてもらえたら同じ値段ならバイローカルを利用しようと思います。
- 安さ、近さが優先順位です。
- そもそも対象を「和歌山市に本社のある」とすると、あまりにも少なすぎる気がします。
- とても良い考えだと思う。野菜や日用品も、和歌山とあるものを買うようにしています。販売の際に、生産者さんの顔写真をつけたり、県産アピールのポップ等があると、買いたくなるかもしれません。
- 和歌山はとてもおいしい野菜や果物が栽培されているのに、地元スーパーへ行くと和歌山産より廉価な他府県、茨城県、宮城県など東北や関東方面の野菜が目立ってきている。流通が少しおかしくなっているのを感じる。地元愛があるので、地元の農家さんが作った野菜や果物がたべたい。そのためには少し離れたよってってなどの産直売り場へ行かないとならないのが少し不思議である。
- 個人経営のお店を応援したいが、商店街がなく店舗ごとの距離があるので十分に活用できていない。
- 安ければ買います。
- ぶらくり丁や美園など、アーケードがあって遊べる所があるので有効活用して欲しい。老人が安心して買い物でき憩えることができそう。若者と共存できる健康な老人の街として、和歌山を盛り上げたらどうでしょうか。
- 品質が良くて、安ければ、必ず、地元産のものを購入する。多少形が悪くても、新鮮であれば、必ず地元産のものを購入する。
- 個人商店も私が子供の頃はたくさんあって、今は少なくなりましたね。地域によっては近くに買い物をするところが無いと思うので、小さな店舗でもできればいいのかなと思います。

- 値段が安くなければ買えない。不便なら行く頻度はあがらない。結局、休日にまとめ買いするなら子連れで時間潰しもできて食事もできる大型商業施設になってしまう。和歌山市内にあまりないので、泉南、堺、岸和田まで行ってでもそちらを選んでしまう。
- 小規模のお店も何軒か同じところに集まった、お店があればより、買い物も楽しく出来ると思います。
- 地元品専門店があれば分かり易いんじゃない。
- 和歌山市駅周辺の寂れたシャッター街を見ると悲しくなります。これ以上悪化させないように、なるべく和歌山に本社がある店舗で買い物をして観劇も県民文化HALLを利用してあります。少しでも和歌山に貢献出来る事を常日頃意識しています。
- これからの時代は、ハイスペックに何でも取り入れていく時代だと思うので、市民にとって便利で安全な策を早く実行して欲しいです。
- 無人販売の野菜を購入する事あります。新鮮で割安な価格、家計に大助かり。
- 食材等は、地産地消な品々を購入するように心掛けてますね。また、少し高くても住まいに近いお店に買い物に行く頻度高いです。公共交通機関(バス)等、昼間には1時間に1本あるかないダイヤ組まれており、殆ど利用する事は現状ではないです。各お店に、高齢者施策の一環として市が送迎バスサービスの充実を働きかけていただきたくおもいます。
- 地元消費したい気持ちはあるが、なかなか協力できない。やはり安いお店で買い物したいと思ってしまう。
- 地元消費を意識して買っていませんが考えてみると買い物の7割位は地元消費でした。
- 地元消費をするためにも、スーパーを徒歩圏内に作ってほしい。買い物難民の救済にもつながる。本当に買い物にも行けない人が多いです。
- 必要とは思いますが、家や会社の近くにある、商品の種類の多さいう、利便性には敵わない。
- 地元消費に関心興味はありますが、価格高騰の現在、地元消費よりも価格重視にならざるをえないと思います。
- 日用品などでは、よく見たら和歌山市のものがあつたりしてわかりにくかつたりします。また和歌山市のものが、和歌山市で買うとお得だったりするとより買おうと思います。
- この言葉は初めて聞きました。もっと周知すべきではないかと思えます。
- 産直市場など、スーパーの片隅にあるとありがたい。新鮮で安い、地元食材が手に入りにくい。
- 割引商品券の発行
- 良い事だと思います。
- 地元の物であると、もっとアピールしてくれると意識します。今まで美味しそう、新鮮などしか意識してなかったです。
- 現状は、近くの安いお店を利用しています。車の運転をしなくなったら、配達してくれるお店がいいなと思いますが、そうなると価格が高くなるだろうな、と色々考えてしまいます。
- 今後意識して買い物場所を選ぼうと思いました。
- 市場などだと行くことがない。地元のスーパーをよく利用しているけど、地元消費かと言われたらわからない。
- 本社が地元にあるからと言って、おいている商品が地元のものとは限らない。地元消費よりも地産地消を推進できるように、各店舗が意識して品揃えしてほしい。
- そこに行くまでの交通手段が無いので、なかなか買い物に行けない。
- 地元店舗の表示、広告。
- 岡崎地区には、交通手段がなく、貴志川線の駅には、遠く、車に乗っていられる間は、買い物には行けますが、乗れなくなった時には、非常に不便を感じます。お年寄りには、困っていると思います。早急な対応、よろしく願います。
- そもそも近隣に店舗が存在しない。今は大丈夫だが、将来車の運転が出来なくなれば生活に支障がでる。自分が高齢になれば、通販等を活用せざるを得ない。
- 地元消費したくても、駐車場がなかったり徒歩圏内に行ける店がなかったり、買い物する場所がない。本町周辺のランチの店が無いので学生が学校外へ出れない。お金をつかいたくても使う場がない

○ 安くて安心安全なお店で買いたいので地元には特にこだわっていません

この度は、お忙しい中、アンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見・ご回答は、本市における商工業振興ならびに地元消費(バイローカル)運動の推進のための参考とさせていただきます。

今後とも本市の商工業振興にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。